

復旧の後押しに

平成19年に法人を設立し、今期で17期目になります。水稻や麦の栽培・出荷のほか、ハウス6棟（21.3畝）でアスパラガスを栽培しています。

法人の設立と同時にハウスを設置しました。設備投資の金額が大きかったため、自然災害などへの備えは不可欠だと思い、当初から園芸施設共済に加入しています。

平成24年の4月には、台風並みの低気圧による暴風で、パイプが曲がってしまいました。その後、防風ネットを設置したのですが、昨年9月の台風14号では、その防風ネットが破れ、さらにハウス1棟のパイプが曲がり半壊になるほどの被害を受けました。

まさかと驚きましたが、共済金をもらい、再び復旧して栽培を再開しようと踏み出す気持ちになりました。共済金がなければ、規模を縮小することも検討していたと思います。

アスパラガスは、2月～秋ごろまで収穫します。その間、ハウスだけではひと月程度収穫が止まる時期があるので、今後は露地での栽培も検討したいと考えています。ハウスは園芸施設共済、作物は収入保険に加入しています。災害に備えつつ地域の農地を守っていけるように、これからも頑張りたいです。

（広報紙「NOSAI広島」2023年 第37号より）



福山市神辺町

農事組合法人ファーム夕日の里

組合長理事 山本 明さん（81歳、左）

部長 三鼓 弘純さん（82歳、右）